

第2回 厚生労働省のEBPM推進に係る有識者検証会

# 厚生労働省のEBPM推進に係る 有識者検証会検証結果取りまとめ(案) のポイント

株式会社メトリクスワークコンサルタンツ

2026年2月13日



## 本検証会は、EBPMの更なる推進を図ることを目的として開催し、計2回にわたり、厚生労働省におけるEBPMの推進に係る取組について外部有識者による検証を行った

検証事項	検証内容	厚生労働省の主な取組
1. 行政事業レビューシートの点検・助言に係る検証	<ul style="list-style-type: none"><li>行政事業レビューシートの点検・助言等の検証を行った</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>対象事業の行政事業レビューシートの記載内容等について、委託業者による詳細なチェックを実施した</li><li>全ての行政事業レビューシートを対象に、「現状と課題」欄におけるデータの記載や長期アウトカムの適切な設定状況について、生成AIも活用しながら、職員による簡易チェックを実施する</li></ul>
2. 効果検証等に係る検証	<ul style="list-style-type: none"><li>過年度のEBPM実践事業から選定された対象事業について、その取組状況に係るフォローアップの検証を行った</li><li>過年度のEBPM実践事業から選定された対象事業について、分析手法や分析結果の解釈等の検証を行った</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>令和5年度のEBPM実践事業から選定された5事業を対象に、専門的立場からロジックの整合性、適切な指標取得、効果検証を見据えた改善点等について、整理し、コメントによる助言を実施した</li><li>来年度に検証予定の2事業を対象に、事業の実施状況やデータの取得状況等を踏まえて、検証の実施可否を判断するとともに、今年度検証を行うこととなっていた1事業を対象に、効果検証を行った</li></ul>
3. その他EBPMの取組に係る検証	<ul style="list-style-type: none"><li>その他のEBPMの取組について、実施方法や取組内容等の検証を行った</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>EBPMよろず相談所を開設し、職員からの相談に対応するとともに、職員を対象としたEBPM研修を実施した</li></ul>
4. 今後の取組について	<ul style="list-style-type: none"><li>来年度以降の効果検証スキームについて、対象事業の選定方法・基準等の検証を行った</li><li>令和7年度の取組内容を踏まえ、令和8年度のEBPMの取組(案)について検証を行った</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>現行スキームの取組・実績や省内の効果検証に関するニーズを踏まえて、来年度以降の効果検証スキームの検討を行った</li><li>政府の取組方針を踏まえながら、行政事業レビューシートの確認や効果検証等の取組を実施する</li></ul>
5. その他EBPMの取組に関する全体スキームについて		

## 行政事業レビューシート(以下、「RS」という。)の点検・助言及び効果検証等に係る課題は以下のとおりであり、来年度以降、対応を検討する

検証事項	検証結果	今後の課題
1. 行政事業レビューシートの点検・助言に係る検証	●●●●	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ RSのEBPM関係部分に関する知識が職員に浸透していない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 概要・目的欄や効果発現経路が適切に記載されていない事業が多く見られたことから、RSのEBPM関係部分に関する実践的な知識や内閣官房行政改革・効率化推進事務局が作成しているRSに関する執務参考資料が職員に浸透していないと考えられる</li> </ul> </li> </ul>
2. 効果検証等に係る検証	●●●●	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アウトプットが低調であることの原因把握が不十分である                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 景気変動等により、事業の必要性が変わることもあるため、担当部局はアウトプットが低調であることの原因を把握することが必要である</li> </ul> </li> <li>■ 事業利用者への効果等に係る評価が不十分である                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 統計分析が実施できなくても、担当部局は事業を利用した人々に効果をもたらしたか否かや、その人々が行政による支援が必要な層か否かを評価することが必要である</li> </ul> </li> </ul>
3. その他EBPMの取組に係る検証	●●●●	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ EBPMよろず相談所:RSに関する相談が少ない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● RSの点検では、適切に記載されていない事業が多く見られたにもかかわらず、RSに関する相談が少ない</li> </ul> </li> <li>■ EBPM研修:基礎研修について、RSの書き方に特化した研修があった方がよい                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受講者アンケートでは、「RSに自分が担当する事業のロジックを記載するに当たり、RSの書き方に特化したマニュアルや研修があった方がよい」という意見が見られた</li> </ul> </li> <li>■ EBPM研修:応用研修について、本来受講すべき対象者が受講していない可能性がある                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施に当たっては、省内に一般的な受講案内を送付しただけであるため、ターゲットが明確でなく、本来受講すべき対象者が受講していない可能性がある</li> </ul> </li> <li>■ EBPM研修:応用研修について、前半(因果推論の講義)と後半(研究報告)で扱う内容の難易度に差がある                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受講者アンケートでは、「後半の研究報告で扱う知識や用語が専門的であったため、理解が難しかった」という意見が見られた</li> </ul> </li> </ul>
4. 今後の取組について	●●●●	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新たな効果検証のスキームの実施に当たり、効果検証対象事業の確実な選定が必要となる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 新たな効果検証のスキームの実施に当たり、効果検証のニーズを把握し、基本的には毎年度、効果検証対象事業を確実に選定する必要がある</li> </ul> </li> </ul>